

【阿里山国家風景区……台湾中西部】

台湾中部に位置する「阿里山風景区」。阿里山というのは、山の名前ではなく、嘉義県にある祝山、大塔山、などの高山から構成された地区のことを言います。

山上の気候は、台湾では珍しく四季の違いがはっきりしています。

日本統治時代、台湾最高峰の玉山(3,952m)とともに、阿里山国立公園として日本の国立公園に指定されていました。

特殊な地形、豊富な動植物生態、変化に富んだ気象で、さまざまな魅力に包まれた国家風景区です。子供から大人まで楽しめる1泊2日の観光地として、絶大な人気を誇っています。



見どころ……①【祝山の日の出鑑賞】



(写真提供:台湾観光局/台湾観光協会)

最大の観光ポイントの一つは、祝山に昇る日の出鑑賞です。世界各地から、大勢の観光客がこれを目当てに早起きをして訪れます。「阿里山」駅から「祝山」まで阿里山森林鉄道が日の出時刻に合わせて運行しているので、ぜひお楽しみください。日の出列車を利用しない場合は、阿里山より徒歩で1.5時間かかります。

見どころ……②【阿里山森林鉄道】



世界三大鉄道の一つとも言われている「阿里山森林鉄道」鉄道は、日本統治時代に材木を運搬する目的で建設されましたが、林業の衰退とともに観光用の鉄道として活躍することになりました。世界でも数少ない高山鉄道の一つで、全長72.7kmと短いながらも、海拔30mの嘉義市から一気に2,216mの阿里山へと登っていきます。気候は、熱帯→温帯へと変化する、さまざまな顔を見せてくれます。
☆注意☆
山奥を走る鉄道のため、台風や土砂崩れにより運休の場合があります。2014年11月現在:嘉義⇄奮起湖間で運行しています。(奮起湖⇄阿里山は運休)

見どころ……③【ゆっくり森林浴を楽しむ】



(写真提供:台湾観光局/台湾観光協会)

もともと阿里山はツォオ族の聖地です。「神木群木道」整備された約4kmの遊歩道を進むと神木線の終点「神木駅」があります。遊歩道の両脇には、樹齢1,000年を超えるヒノキが立ち並びます。ヒノキ林からでているマイナスイオンによりパワースポットの1つとして有名です。

阿里山国家風景区の周辺観光について



『奮起湖駅 構内』



『嘉義神社の社務所』

嘉義より鉄道で2時間の「奮起湖駅」は海拔1,400m地点です。蒸気機関車が使われていた頃は、水や石炭を補給する場所だったため、停車時間が長く休憩を取る場所でした。そのため、商人が集まり栄えました。奮起湖老街は通りも狭く九份に似ていることから、南台湾の九份とも呼ばれます。

日本統治時代に建てられた、「嘉義神社」本殿は、1994年に焼失してしまいましたが、かつての社務所が史蹟資料館として現在も利用されています。

韓国・台湾・中国・東南アジア専門店 (株)HMC ハンドメイドツアー	TEL	03-3831-4295	担当	成澤
	FAX	03-5812-7085		
	URL	http://www.handmadetour.jp	メール	tour@handmadetour.jp